

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	柳城(保)	子ども達は大人が思っているほど壁はなく、すぐ仲良くなります。壁を作っているのは大人です。学校が統合する前から子どもたちが交流する機会を作ってもらいたい。	やまと小が開校する前は、合同遠足や宿泊訓練、タブレットを活用した学級活動を行いました。また、スクールバスの登校訓練を兼ねて、各小学校から当時の中島小に集まり交流会を開催しました。今後も開校予定の学校ではできるだけ多く交流する場を設けたいと考えています。
2	三橋(保)	9年間を見通した教育は、現在学校が離れていてもやれるのではないかと思います。再編を待ってからでは遅いと感じますので、今からできることは始めていただきたいです。	現在も各中学校においては小中連携ということで、夏休みに先生方が集まって研修をしています。学校においては中学校の教員が小学校に行って出前授業という形で授業を対応することもできますので、それを丁寧に進めながら小中一貫という体制を作ることも今後考えていきたい。今でも連携自体は実施していますので、その深まりや内容については、ご意見を参考にしながら進めていきたいと考えています。
3	柳南(地)	やまと小が誕生し、良かった点、悪かった点がありますか。	良かった点としては、近年不登校が増加傾向にあるなかで、やまと小は統合したことで人間関係が一度リセットになり、新しい環境になったことで不登校が減りました。また、児童数が増えたことで、様々な行事が活性化しました。
4	不明(保) 三橋(地) 大和(保)	市内の同じ中学校なので、すべて義務教育学校に統一したほうがいいのではないかと思います。	義務教育学校は柳川市が目指している9年間を見通した教育を効果的に行える学校だと思っています。学校再編を計画するにあたり、児童生徒数や既存校舎の配置や広さ、校舎等が一体的に整備できるなど条件が整う地域は、9年間を見通した教育に適した義務教育学校へ再編を行うなど、現段階でそれぞれの地域の実情に合わせて考えた変更案です。
5	柳城(地)	柳川市は義務教育9年間を見通した教育を考えているということなので、(仮称)やながわ小学校も将来義務教育学校になるという考えでいいですか。	学校再編を計画するにあたり、児童生徒数や既存校舎の配置や広さ、校舎等が一体的に整備できるなど条件が整う地域は、9年間を見通した教育に適した義務教育学校へ再編を行うなど、現段階でそれぞれの地域の実情に合わせて考えた変更案です。将来的には義務教育学校へということも念頭に置いています。

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
6	柳城(地)	義務教育学校だけではなくて、小学校や中学校もあって市民の方々の選択肢が増えたほうがいいと思いますがいかがでしょうか。	義務教育学校は柳川市が目指している9年間を見通した教育を効果的に行える学校だと思っています。学校再編を計画するにあたり、児童生徒数や既存校舎の配置や広さ、校舎等が一体的に整備できるなど条件が整う地域は、9年間を見通した教育に適した義務教育学校へ再編を行うなど、現段階でそれぞれの地域の実情に合わせて考えた変更案です。
7	柳城(保)	現計画では、柳城中と柳南中の統合中学校の学校位置は柳城中だったが、現柳城中を小学校に、現柳南中を中学校に変更した理由を教えてください。	小学生と中学生を比較した場合、通学の安全面を考慮し弱者である小学生の安全面を第一に考え、人口密度が高く見守りが多い地域で、歩道や横断歩道などが整備がされている現柳城中を小学校に変更しました。
8	柳城(地) 三橋(地)	地域のコミュニティも大事ですが、子どもの通学の安全面を考えて、旧市町をまたいだ学校再編ができないでしょうか。	現在も旧市町や校区での地域行事や活動が行われ、地域コミュニティが根強く残っていると感じているため、現段階では旧市町をまたがない再編計画としています。
9	柳南(保)	地域のコミュニティを尊重した今回の変更案に賛成します。今後も児童数の減少等により変更が必要となる場合も柔軟に対応していただきたいです。PTAとしても市に協力するので、コミュニケーションを大事にしたいと思います。	今回、現段階での人口推計を行いましたが高後の状況把握が難しい部分もあります。国の動向や本市の状況により再編計画の検討が必要となる場合は、柔軟に対応していきたいと考えています。皆さんとのコミュニケーションを大事にしながら、今後もしっかりと進めさせていただきます。
10	蒲池(地)	柳城・柳南中は合併して、なぜ蒲池と昭代は変更しないのですか。	蒲池・昭代地区については9年制の義務教育学校となりますが、柳川市が目指す学校教育を効果的に行える学校だと思っています。それに加え施設について、義務教育学校は小学校と中学校が区別なく一つになることが特徴ですので、蒲池地区と昭代地区については小中学校の校舎が隣同士で一体的に整備ができることも理由の一つです。現時点では蒲池・昭代地区それぞれが義務教育学校として開校し、子どもたちの教育環境をより良くしていくことが現段階での最適解だと考えているため、今回の再編計画では見直しをしていません。

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
11	蒲池(地)	昭代・蒲池地区の学校規模が、他の小学校・中学校の再編規模と比べると、児童生徒数が少なく、規模が違いすぎませんか。	学校規模につきましては、今回大和中学校と三橋中学校の統合中について見直しを行っており、現段階でそれぞれの地域の実情に合わせて考えた変更案です。
12	大和(保)	やまと小を開校するにあたり、旧中島小にかなりお金をかけたと思いますが、移転は必要でしょうか。	やまと小は再編計画に基づき、6年後に移転する計画で開校をしました。ただ6年後に移転するとしても、今の子ども達には今のやまと小が自分達の学校ですので、できる限りの改修を行いました。ただし6年後に移転するという計画で開校していますので、その部分は守りたいと考えています。
13	大和(保)	現在のやまと小は移転が必要という理由で義務教育学校という変更案なら、小中学校別でやまと小の校舎を新設できないでしょうか。	義務教育学校は柳川市が目指している9年間を見通した教育を効果的に行える学校だと思っています。学校再編を計画するにあたり、児童生徒数や既存校舎の配置や広さ、校舎等が一体的に整備できるなど条件が整う地域は、9年間を見通した教育に適した義務教育学校へ再編を行うなど、現段階でそれぞれの地域の実情に合わせて考えた変更案です。小中学校を一体的に整備できるのであれば、義務教育学校として開校し、子どもたちの教育環境をより良くしていくことが現段階での最適解だと考えています。
14	柳城(保)	再編スケジュールが10年から18年に延びた理由を教えてください。	平成23年に学校再編について検討を行いましたが、時期尚早で10年後に再検討する結論となり、人口減少のスピードに対して学校再編が遅れる結果となりました。学校再編により学校規模を適正化し、できるだけ早く子どもたちによりよい環境を提供したいという思いで現計画の10年間の計画で学校再編に取り組んでいましたが、実際協議を進める中で丁寧に協議を進めることは大切であり、現計画の3つの地区の再編協議が重なり、毎年開校していくスケジュールでは現実的に難しいと判断したため、実現可能なスケジュールに見直しを行いました。
15	三橋(保) 三橋(地) 大和(地)	人数を見てどう考えても先にやらないといけないうところが後回しになっている気がします。どうしてこの順番にされたのか。変更ができるなら、しても良かった方がいいのではと思う。	三橋地区のことだと思います。複式学級の解消は重要で、現在は複式学級が発生したところには、先生の手当をして複式解消に努めています。今回の学校再編は、再編計画に基づいてできるだけ既存校舎を有効活用していきますが、校舎等の改修にも費用がかかります。三橋地区では財源の課題などを含め考慮すべき点があり、こうした地域の事情などによりこのようなスケジュールとなっています。

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
16	三橋(地)	(仮称)三橋東部小学校の学校位置が現垂見小になった理由を教えてください。	今後学童保育所の需要も増える見込みであり、できるだけ学童保育所は学校敷地内に設置するという方針等を踏まえ、3校を比較した場合、垂見小が一番学校敷地が広いこと、大和城島線が通っているので交通の便もいいことから垂見小にしています。
17	不明(地)	白秋先生が作詞された校歌が市内にあると思うがそれがなくなってしまうのは少し残念だと思います。	ご指摘の通り市内には柳河小、城内小、矢留小の3校に白秋先生が作詞した校歌があります。校歌をどうするかも学校再編協議会で保護者や地域の方々と一緒に検討していくことになります。
18	蒲池(保) 昭代(保) 大和(保)	義務教育学校は9年間の義務教育を一貫して行う学校とのことですが、入学式・卒業式はどうなるのですか。6年生の卒業式、7年生になる時の入学式はあるのですか。	義務教育学校における儀式的行事では1年生の入学式、9年生の卒業式になります。6年生での卒業式や7年生での入学式は制度的にないということになりますが、他市の義務教育学校では、6年生が終わった段階で私立などに進学する子もあり、お別れを含めた修了式を企画されているところもあるので参考にしながら企画を立てていければと考えています。
19	蒲池(保)	義務教育学校になった学校の入学式や卒業式、体育祭・運動会などの各行事は統一される予定ですか。	新しく義務教育学校になる学校の行事等は、該当校の先生方で組織される学校運営部会で話し合いをされ決めていきますが、市内全部の学校の行事を統一して決める予定はありません。
20	昭代(保)	義務教育学校になり小学生は制服となった場合、残りの1年間でも制服の購入は必要ですか。	制服になった場合、在校生全員が制服に変わるのではなく、例えば昭代地区は現在私服なので、経過措置等で在校生は選択制にしたり、そのまま私服にして新一年生から制服にするなど、費用負担等の問題もあるので保護者の方にできるだけ納得していただけるよう再編協議会で協議していきます。

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
21	大和(保)	義務教育学校は相互乗り入れ授業が取り組みやすい特徴があると説明されましたが、教員の方々の負担が大きくなりませんか。	中学校は学級数に応じて教科の定員数が決まりますので、その内容に応じて平準化した持ち数を算出し、学校の中で割り振りする形になります。
22	不明(保) 大和(保)	義務教育学校の特徴は説明いただきましたが、デメリットはどのようなことがありますか。	デメリットは、学級集団等、子どもたちの集団が固定化されそのまま9年間継続することで、人間関係等の課題が出てくるということと言われています。しかし、集団がまとまって高まっていけば、子どもたちの自尊心等も高まっていくということも言われていますので、裏を返せばそれがメリットになる可能性もあります。
23	不明(保)	義務教育学校は9年間コミュニティが固定化されるということで、「未来を生き抜く5つの力」の中で、「新しい物事を考え行動する力」「多様な人と伝え合い高い人権意識を養う力」は育まれないのではと思いました。中学校から環境を変える選択肢もありではないかと思えます。	固定化されるデメリットを上回る良さとして、異学年の集団が9年間揃っていることで中学生にあたる上級生は小学生にあたる下級生に対する思いやりなど、気持ちの成長につながるのではないかと思います。また、小学生にあたる低学年は中学生にあたる上級生と一緒にいた場合、憧れの存在として、自分の9年後の姿、こういうふうになりたいという気持ちが相乗効果として生まれると考えています。一般的に言われているデメリットは学校の中では行事等を通して子どもたちの情操教育につなげることで、「新しい物事を考え行動する力」や「多様な人と伝え合い高い人権意識を養う力」は育てられると考えています。
24	蒲池(地)	施設が後手に回っている。筑後市や大川市は建物を新築できたので合併できたと思えます。	柳川市については、再編計画にあるようにできるだけ既存校舎を有効活用することになっていきます。柳川市全体の財政状況、そして柳川市の学校数等を考えますと厳しい状況ですので、現段階では既存校舎をできるだけ活用し学校再編を進めます。
25	大和(保)	(仮称)大和義務教育学校になった場合、学校位置は大和中とその周辺となっていますが、具体的な計画はありますか。	施設整備につきましては、まず中学校の校舎を活用したいと考えています。そこで教室が足りない場合は、敷地内での増築を考えています。そして敷地内でできない場合は、南側の元商工会の敷地等を含め検討したいと考えています。

柳川市立小中学校再編計画(変更案)に係る説明会における主な質疑応答

No.	校区	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
26	柳城(地)	校区が広くなると、登下校の安全面が不安です。組織として市全体の取組が必要ではないでしょうか。	各地域において、見守り活動等は実施していただいている。今後も各種団体と協力しながら、地域で子供を見守っていく体制づくりに努めていきたい。
27	柳城(地)	現柳城中を(仮称)やながわ小学校にされる案ですが、スクールバスの乗り入れはどのように考えてありますか。	今後再編協議会において協議することになりますが、スクールバスの送迎と保護者の方の送迎ができるだけ混在しないように子どもの安全を第一に考えていきます。
28	三橋(保)	小学校が統合すると通学距離が遠いところはスクールバスになると思いますが、やまと小では負担になっていると聞きます。できるだけ子どもが負担にならない形を検討してもえますか。	校区が広くなると通学で子どもたちに負担がかからないようスクールバスを利用することになると思います。やまと小では、基本的に旧小学校をバスの停留所としています。それと小学校までの距離が遠いところは別に3か所バス停を設けています。バス停の位置は、子どもたちの通学の安全面等を考えて再編協議会で検討していくことになります。
29	三橋(保)	現在藤吉小に通っています。中学校は三橋中になりますが、柳城中が近いため、希望すれば近い中学校に通うことができるという選択肢は作っていただけないでしょうか。	近くの学校に通いたいという声はありますが、現状は規則に基づき指定された学校に通っていただくことになります。
30	柳南(地)	柳川市の人口を増やす取り組みに力をいれてほしい。	教育委員会だけの問題ではありませんので、人口減少を抑制できるよう、できれば人口を増やせるように全庁的に取り組んでまいります。